

JAPANESE (Provisional Translation)

Original: United Nations High Commissioner for Refugees, "UNHCR's Position on Sudanese Asylum-Seekers from Darfur" (10 February 2006), Available at <http://www.unhcr.org>.

Note: In case of dispute over translation, English text shall prevail.

(当文書は仮訳であり、正文は原文とします。)

ダルフール出身のスーダン人庇護希望者についての UNHCR の見解

国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)

2006 年 2 月 10 日

1. 前回 2001 年 11 月に UNHCR がスーダンへの帰還問題について助言¹を行って以降、同国では国内における避難状況に影響を及ぼすような大きな進展があった。

2. スーダン西部では、1980 年代以降ダルフールの人々が経済的、政治的に排斥される状況が続いていることに対しハルツームのスーダン政府が対処していないことが非難され、2003 年 2 月にダルフールにおいて反政府グループが 2 つ出現して政府を攻撃し危機が勃発した。スーダン解放軍 (The Sudan Liberation Army、略称「SLA」) と正義と公正運動 (the Justice and Equality Movement、略称「JEM」) はハルツーム政府がダルフールのアフリカ系民族を差別扱いしていると主張した。それに引続いて武力紛争が起り、SLA と JEM との戦闘で政府軍はアラブ系のジャンジャウィード (Janjaweed) の支援を受けた。こういったアラブの民兵が、ダルフール地域の 3 つの州で 180 万人の人々が国内避難民となり、20 万人が国境を越えてチャドに追い立てられ、少なくとも 5 万人が命を失った主たる原因と考えられている。²

3. スーダンへの強制送還はその出身地域に関係なく、ダルフール出身者も含め、一部のスーダン人にとって危険を伴う。例えば、選別されて身柄拘束や尋問を受けやすい戦闘能力のある若年層が該当する。こういった逮捕はしばしば 1993 年 2 月 28 日付の政令に従って行われる。この政令によって、国境地帯の当局は、帰国してきたスーダン人で 1989 年 6 月のクーデタ後に出国し、1 年を超えて国外に滞在していた者を逮捕できる。そういった者は「取調べ」や「安全上必要とされる措置」の対象となりうるというものである。現在この政令は帰国者個々の経歴に応じ選別的に適用されている。戦闘能力のある若年層はとりわけこの政令の適用対象とされやすい。

4. 国会は 1999 年 7 月に新たな治安法を制定し、それによって治安部隊は人々を取り調べのために 3 日間勾留することができるようになった。同法律上の 3 日間の勾留に関する条項が厳格に実施されているかどうか評価することは難しい。治安部隊が強権を発動するようになってから、より長期に及ぶ恣意的拘禁が後を絶たない。その上、反政府活動家と疑われた者の多く

¹ UNHCR's Position on the Return of Rejected Asylum Seekers to Sudan, November 2001, <http://www.unhcr.org/cgi-bin/texis/vtx/home/opendoc.htm?tbl=RSDLEGAL&page=research&id=%2042822b534>.

² United Nations Commission on Human Rights, *Report of the independent expert on the situation of human rights in the Sudan, Emmanuel Akwei Addo* (E/CN.4/2005/11), 28 February 2005, in UNHCR Refworld 2005, Issue 14, CD 5.

JAPANESE (Provisional Translation)

Original: United Nations High Commissioner for Refugees, "UNHCR's Position on Sudanese Asylum-Seekers from Darfur" (10 February 2006), Available at <http://www.unhcr.org>.

Note: In case of dispute over translation, English text shall prevail.

(当文書は仮訳であり、正文は原文とします。)

が毎日治安当局に出頭することが義務付けられ、そこでは終日留め置かれている。³

5. ダルフールについては、治安状況は 2005 年 8 月以前の数ヶ月間、やや改善が見られたものの⁴、それ以降際立って悪化した⁵。ダルフールでの戦闘では依然として民間人が標的にされている。家や土地を追われた数千のダルフールの人々がダルフールの国内避難民 (IDP) キャンプに留まっている。最近の傾向は、主としてアラブ民兵による民間人の拉致、嫌がらせ、財物強要、略奪が著増していることである⁶。アラブや他の正体不明のグループで、一部は軍、警察、反政府グループと関係が有ると思しきものもあり、それらによる意図的な襲撃が IDP キャンプの民間人をねらって行われ、男性たちが殺され、女性たちが拉致され、家畜が略奪され、村落が破壊され、作物や水路が破壊された⁷。今まで住んでいなかった者が村落を占拠する事態が増える傾向にある。当局の対応は概して不十分で、遅々として進んでいない。一部のキャンプ内の女性や薪集めにキャンプの外に出た女性は性的暴力を被る危険が相変わらず高い⁸。弁護士や法的支援、人権ネットワークに関わっている人々は、国際 NGO 関係者とともに拉致、い

³ Six Committees have been established, as per the Interim Constitution, for the purpose of reviewing the existing laws. The committee appointed to examine the national security legislation of 1993 (amended in 1999) has not finalized its review process yet. The practice and the decree mentioned above are still in place, despite the fact that the emergency state has been lifted, except for Darfur and eastern Sudan.

⁴ Secretary-General Report to the Security Council on Darfur (S/2005/378), 9 June 2005.

⁵ Banditry has become the main threat to civilians with no visible effort by the Government to disarm the militia (the *Janjaweed*) or hold them to account; nor does the SLM/A or JEM control their men under arms. See: Secretary-General Report to the Security Council on Darfur (S/2005/592), 19 September 2005.

⁶ Secretary-General Report to the Security Council on Darfur (S/2005/523), 11 August 2005.

⁷ On 29 September 2005, a significant incident occurred when Aro Sharow camp was reportedly attacked by 250-300 Arab men on horseback. See: UNHCR, *UNHCR gravely concerned over attack on Darfur camp*, UNHCR Press Release, 29 September 2005, <http://www.unhcr.org/cgi-bin/texis/vtx/news/opendoc.htm?tbl=NEWS&id=433bf1004>; Bill Varner, Karl Maier, *Arab Militia Attack on Darfur Refugee Camp Kills 29, UN Says*, 29 September 2005, http://www.bloomberg.com/apps/news?pid=10000087&sid=aGnoiNPk4BEU&refer=top_world_news [accessed 31 January 2006]; Prevent Genocide International, *Global News Monitor for October 16-31, 2005*, <http://www.preventgenocide.org/prevent/news-monitor> [accessed 31 January 2006].

The attack appears to have been planned and coordinated, as most came from the North but escape to the South was prevented by placement of some horsemen there as well. Two villages located close to the camp – Araja and Gosmeina – were also reported burned. 15-20 IDPs are reported killed. The number of injured people is not known.

On 5 October 2005, IDP Kalma camp in southern Darfur was attacked by unknown armed men, which resulted in the abduction of eight women and one man. Twelve men were beaten and injured. Later, the women were released; however, the men went missing. The security situation in Yassin deteriorated. On 10 October 2005, fighting took place between the Rezagat tribe men and the GOS military forces in the area, which resulted in the death of Rezagat tribe Chief.

⁸ United Nations Commission on Human Rights, *Report of the independent expert on the situation of human rights in the Sudan, Emmanuel Akwei Addo* (E/CN.4/2005/11), 28 February 2005, in UNHCR Refworld 2005, Issue 14, CD 5.

JAPANESE (Provisional Translation)

Original: United Nations High Commissioner for Refugees, “UNHCR's Position on Sudanese Asylum-Seekers from Darfur” (10 February 2006), Available at <http://www.unhcr.org>.

Note: In case of dispute over translation, English text shall prevail.

(当文書は仮訳であり、正文は原文とします。)

やがらせ、おどしなどを受けている。政府の実効ある保護が欠如していることから、ダルフルの人々の身の安全が一層脅かされている⁹。総じて言える事は、治安状況の改善が見られないということである。むしろ事態は逆行しており、ダルフルへの送還はなされるべきでないという現在の立場を変える理由はない。

6. ハルツームでは、約 200 万人の国内避難民が 4 ヶ所の IDP キャンプと首都圏に散在する 16 ヶ所ほどの不法居住区で暮している。国内避難民の大多数は南部スーダン出身者だが、ダルフル出身の者も相当数にのぼり、その多くは旱魃の影響を受けて 1980 年代にハルツームにやってきた者たちである。調査による推計ではハルツームにいる 200 万人の国内避難民のおよそ 10-15% がダルフル出身者である。ハルツーム圏内の国内避難民たちは社会的、経済的に排斥されており、国連や NGO の活動にもかかわらずきわめて劣悪な生活状況に置かれている。当局による嫌がらせと恣意的な暴力が常に見られる。ハルツームにいるダルフル出身の国内避難民は、強制的に居住地を変えさせられたり、強制送還させられたりといったように保護面での危機にしばしば見舞われる。¹⁰

7. 事態を一層悪化させていることは、政府が 2003 年以降ハルツーム圏内の IDP キャンプと不法居住地区の「再計画プロセス (replanning process)」を加速させていることである。その結果国内避難民の家屋、学校、医療センターが取り壊されている。UNHCR の見積もりでは、約 25 万の国内避難民の家族が現在進められている家屋取り壊しによって住む所を失っている。割り当てられる区画が少なすぎ、代替居住施設がないため、何千もの家族が住む所もない状況に追いやられている。新たな区画割り当てから締め出された人達の求めに対処する、実効性のある政策が欠如している。特に難儀を強いられているのは、非登録の国内避難民、世帯主が女性の家族、1996 年以降にハルツームにやって来た人々である。後者の中には、ダルフル危機によって首都に移動することを強いられた大多数のダルフル出身国内避難民が含まれる。

8. 国内避難民たちがダルフルやハルツームで国際的な支援を受けているからと言って、庇護希望者がスーダン国内に帰還することが安全だとか理にかなっているという結論が導かれてはならない。ダルフルの国内避難民たちは依然として身の安全を著しく脅かされている。UNHCR の所見では、脅威はきわめて広範に及んでおり、ダルフル出身の庇護希望者にとって、ダルフル危機の前からハルツームに住んでいた者も含め、スーダン国内にどこか難を逃

⁹ On 24 January 2006, UNHCR announced that some 800 Sudanese from Darfur had arrived this month to Gaga camp in Eastern Chad, underscoring the deterioration in security. See: UNHCR, *Guterres warns UN Security Council of possible “catastrophe” in Darfur*, UNHCR Press Release 24 January 2006, <http://www.unhcr.org/cgi-bin/texis/vtx/news/opendoc.htm?tbl=NEWS&id=43d657784>.

¹⁰ In 2004, one day after the visit of the UNHCR Inspector General (from 5-19 March 2004) to a camp composed of internally displaced non-Arab Darfurians, the authorities moved into the camp, evicted its residents and forcefully relocated them to the outskirts of Khartoum.

JAPANESE (Provisional Translation)

Original: United Nations High Commissioner for Refugees, “UNHCR's Position on Sudanese Asylum-Seekers from Darfur” (10 February 2006), Available at <http://www.unhcr.org>.

Note: In case of dispute over translation, English text shall prevail.

(当文書は仮訳であり、正文は原文とします。)

れる地域があるとは言えないとしている。スーダンに帰国する「非アラブ系の」ダルフル出身スーダン人は治安当局によって取調べを受ける可能性がますます高くなっている。その上、国内避難が「民族浄化」政策の結果である場合には、国内で他の場所に避難したり再定住出来ることを根拠に難民の地位を認めないとすれば、そのことによって、「民族浄化」政策の結果として発生している現状を容認したものと解釈され、更なる懸念を惹き起こす恐れがある。¹¹

9. ゆえに UNHCR は以下を勧告する。

- 各国が「非アラブ系の」ダルフル出身スーダン人庇護希望者に対し、難民の地位に関する 1951 年条約及び 1967 年議定書、もしくはアフリカにおける難民問題の特殊な側面を規定するアフリカ統一機構条約に基づき、適切に難民認定を行うことによって国際的保護を提供すること。
- ある国において法律上難民の地位を認めることが困難であるが、それでもなおその者が国際的保護から除外されないと思われた場合には、少なくとも補完的保護が与えられるべきである。いかなる「非アラブ系の」¹²ダルフル出身スーダン人も、ダルフルの治安状態が著しく改善されるまでは強制送還されるべきでない。
- ダルフルからの庇護希望者で、世帯主が女性の家族、傷病者、過去の迫害被害者といった特に弱い立場の者に対する特段の保護の必要性に対し、しかるべき注意が払われること。
- しかしながら、個別事案の一部については 1951 年条約第 1 条 (F) 項及び、もしくは 1969 年アフリカ統一機構条約第 1.5 条により除外理由に該当する可能性についてもしかるべき注意が払われること。

10. この UNHCR の立場は 6 ヶ月後に更新されるものとする。

¹¹ UNHCR, UNHCR Guidelines on International Protection: “Internal Flight Alternative” within the Context of Article 1A(2) of the 1951 Convention and/or 1967 Protocol relating to the Status of Refugees, HCR/GIP/03/04, 23 July 2003, in UNHCR Refworld 2005, Issue 14, CD2, <http://www.unhcr.org/cgi-bin/texis/vtx/home/opendoc.pdf?tbl=RSDLEGAL&id=3f2791a44>.

¹² While UNHCR’s recommendation that a presumption of eligibility to refugee status under the above-mentioned instruments applies to non-Arab Darfurians, asylum claims submitted by Darfurians of Arab origin shall be considered on their individual merits.

JAPANESE (Provisional Translation)

Original: United Nations High Commissioner for Refugees, "UNHCR's Position on Sudanese Asylum-Seekers from Darfur" (10 February 2006), Available at <http://www.unhcr.org>.

Note: In case of dispute over translation, English text shall prevail.

(当文書は仮訳であり、正文は原文とします。)

Sudan: Locator Map¹³



¹³ United Nations High Commissioner for Refugees, Geographic Information Systems, UNHCR Khartoum, October 2005

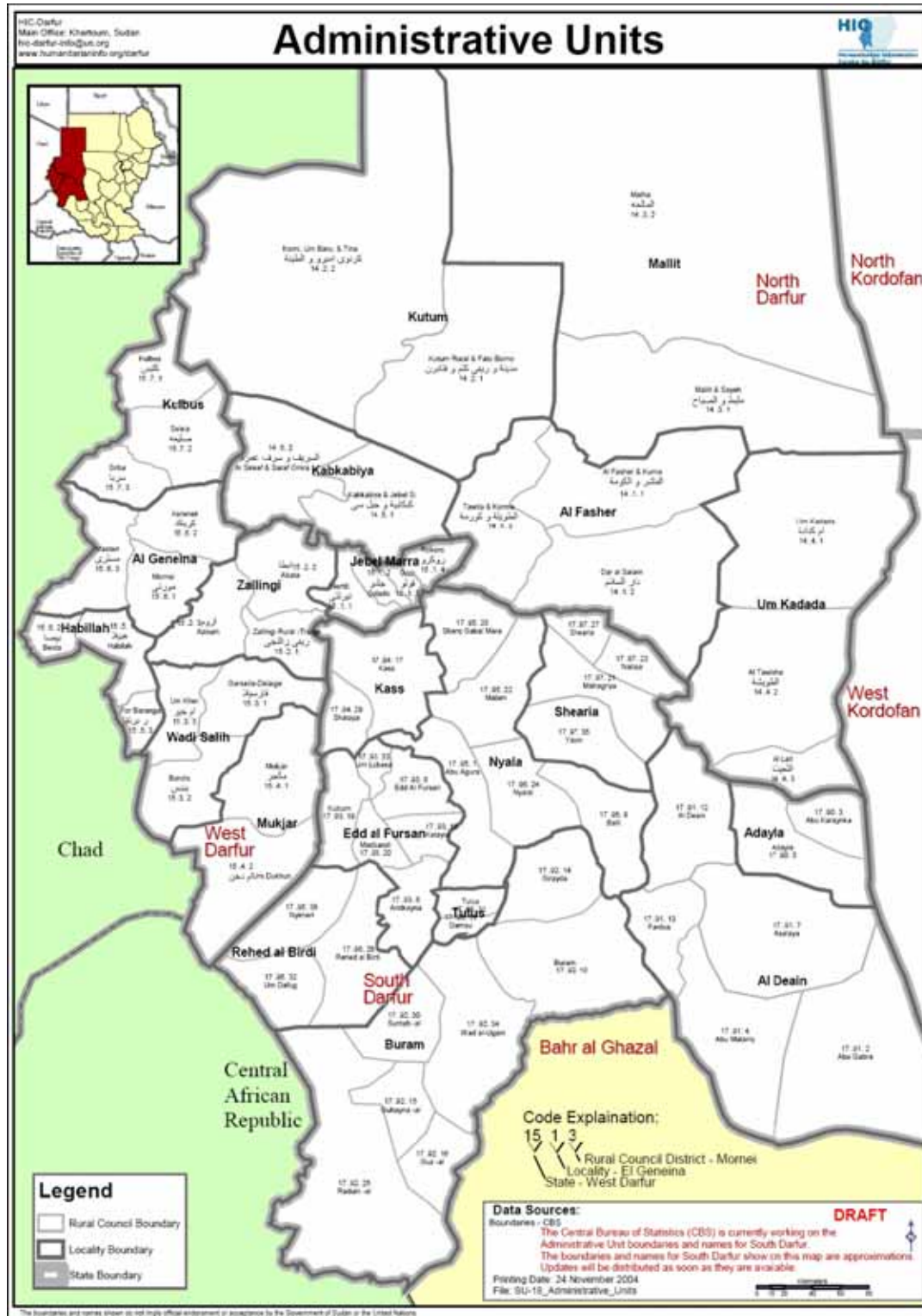
JAPANESE (Provisional Translation)

Original: United Nations High Commissioner for Refugees, "UNHCR's Position on Sudanese Asylum-Seekers from Darfur" (10 February 2006), Available at <http://www.unhcr.org>.

Note: In case of dispute over translation, English text shall prevail.

(当文書は仮訳であり、正文は原文とします。)

Darfur: Administrative Unit¹⁴



¹⁴ Humanitarian Information Centre (HIC) for Darfur, Map Centre, 24 November 2004. Available at <http://www.humanitarianinfo.org/darfur/mapcentre/index.asp>.

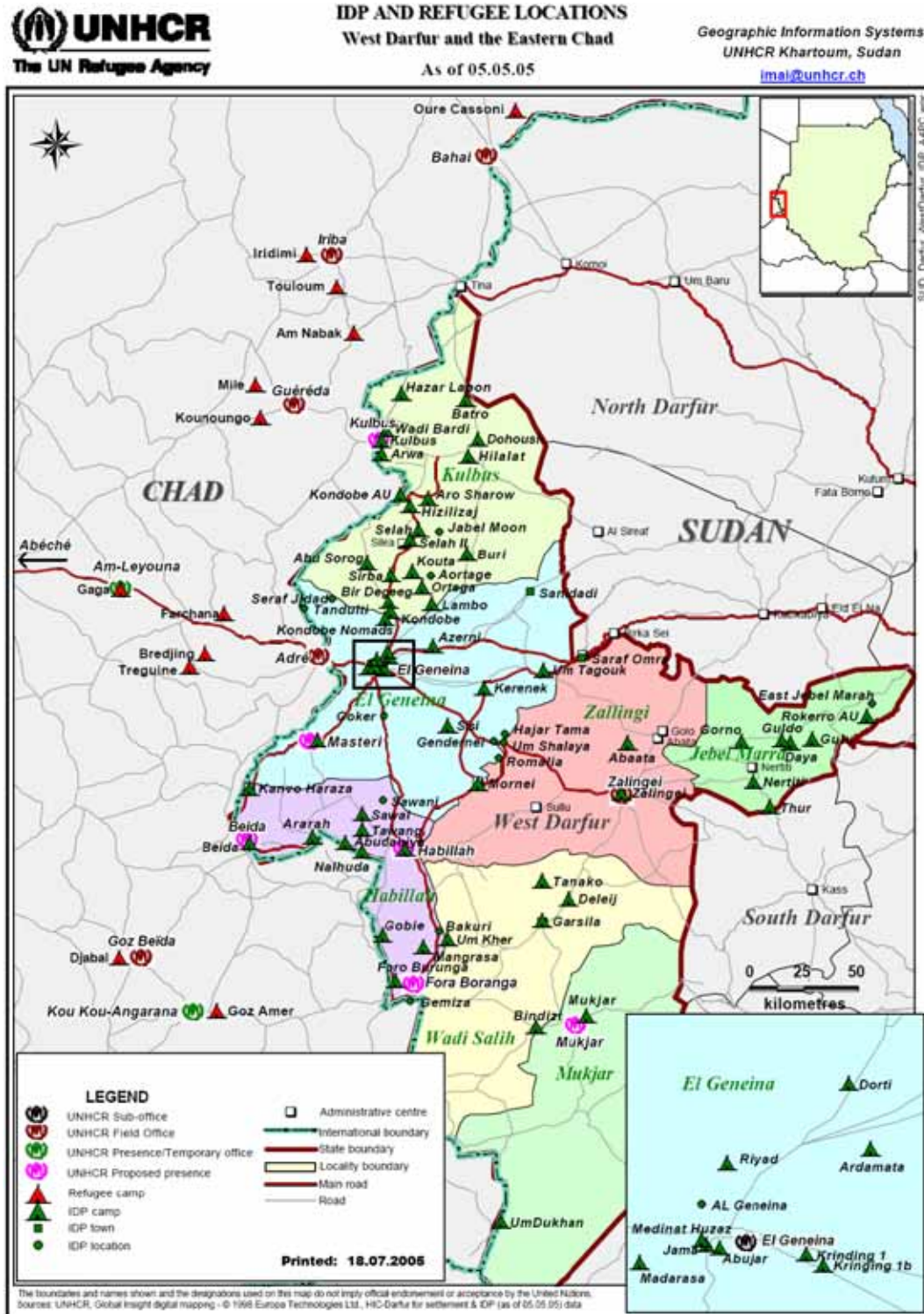
JAPANESE (Provisional Translation)

Original: United Nations High Commissioner for Refugees, "UNHCR's Position on Sudanese Asylum-Seekers from Darfur" (10 February 2006), Available at <http://www.unhcr.org>.

Note: In case of dispute over translation, English text shall prevail.

(当文書は仮訳であり、正文は原文とします。)

IDP and Refugee Locations - West Darfur and Eastern Chad¹⁵



¹⁵ United Nations High Commissioner for Refugees, Geographic Information Systems, UNHCR Khartoum, 5 May 2005.

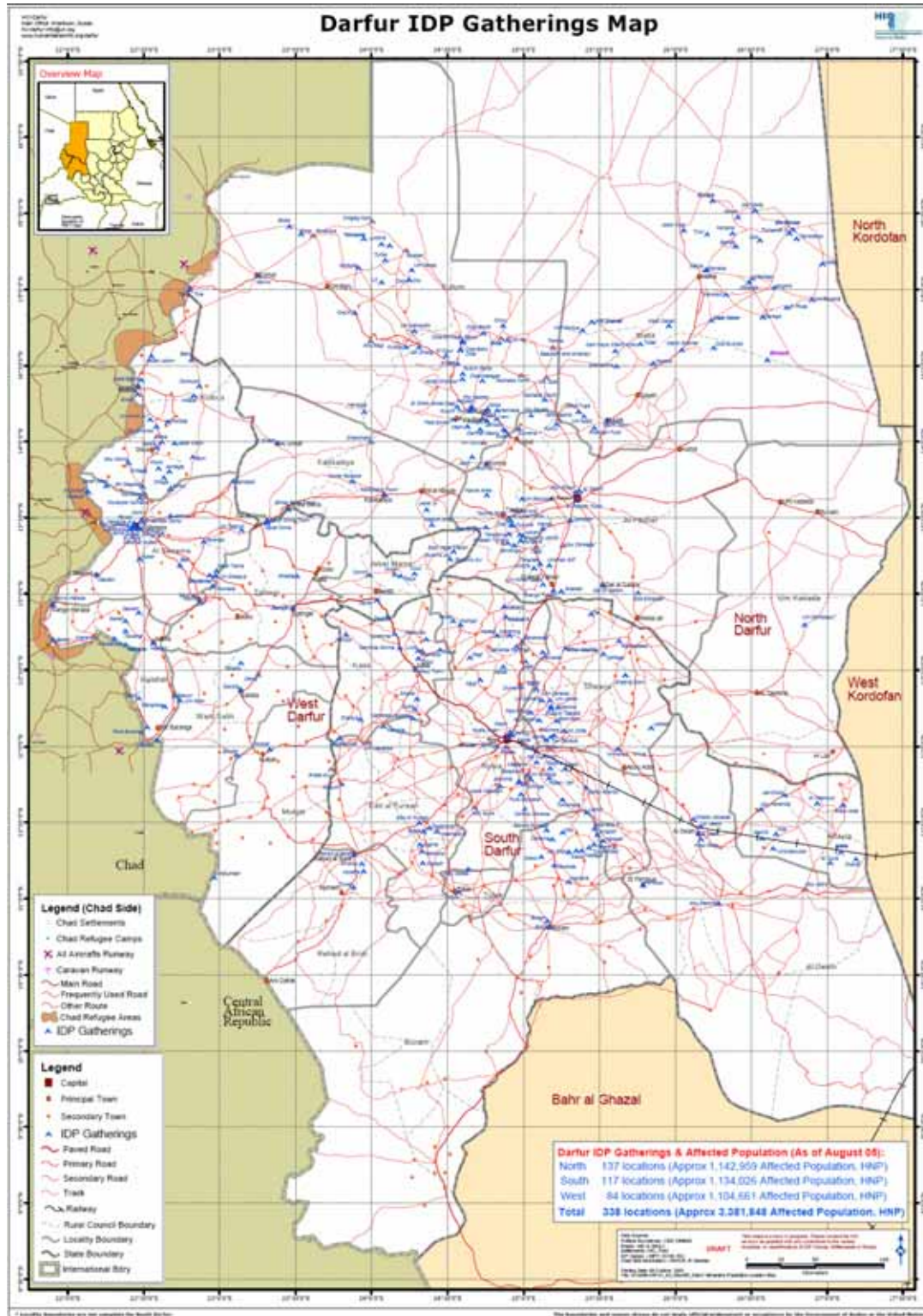
JAPANESE (Provisional Translation)

Original: United Nations High Commissioner for Refugees, "UNHCR's Position on Sudanese Asylum-Seekers from Darfur" (10 February 2006), Available at <http://www.unhcr.org>.

Note: In case of dispute over translation, English text shall prevail.

(当文書は仮訳であり、正文は原文とします。)

Darfur IDP Gatherings Map¹⁶



¹⁶ Humanitarian Information Centre (HIC) for Darfur, Map Centre, 8 October 2005. Available at <http://www.humanitarianinfo.org/darfur/mapcentre/index.asp>.